

施策評価調書(23年度実績)

政策体系	施策名	観光と地域づくりを一体とするツーリズムの推進	所管部局名	企画振興部	施策コード	Ⅱ-3-(1)
	政策名	ツーリズムの展開	関係部局名	企画振興部	長期総合計画頁	101

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	地域資源の商品化	ツーリズム基盤の整備	九州新幹線全線開業など環境の変化に対応した新たな観光戦略の推進	アジアを中心とする海外からの観光客の誘致

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		23年度			24年度	27年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i	県内宿泊客数(人泊/年)	①②③	H19	4,749,470	4,550,000	4,870,600	107.0%	5,050,000	5,200,000					
ii	外国人宿泊客数(人泊/年)	①②③④	H19	326,380	180,000	306,770	170.4%	360,000	390,000					
iii	グリーンツーリズム宿泊数(人泊/年)	①②③	H19	11,188	19,600	21,919	111.8%	20,500	23,600					

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等			平均評価
i	達成	上半期は東日本大震災後の自粛ムードにより減少していたが、下半期は関西圏域での観光物産展開催やメディアによる情報発信などにより、観光客の西日本へのシフト、九州新幹線全線開業等により増加した観光客を県内へ引き込み、震災の影響を考慮して低く設定していた目標値を達成した。		達成
ii	達成	東日本大震災や原発事故の風評被害、円高・ウオン安等の影響により平成22年を下回ったものの、香港プロモーションなどの誘致策を講じたことにより、震災後の影響を考慮して設定していた目標値を達成した。		
iii	達成	県内各地域の農山漁村ツーリズムの活動を支援し、受け入れ基盤の整備などに取り組んだ結果、過去最高の宿泊数となり目標値を達成した。		

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組No.	評価
①	・ツーリズムおおいたのホームページを通じた情報発信の充実を図るため、260回の更新を行い、年間で2,023,847件のアクセスを得た。
②	・平成22年度に設立したボランティアガイド協議会の充実に努め、登録者を55団体1,971名に拡大した。
③	・九州新幹線対策として運行した「まちあるき観光列車」を10回運行し、合計で602人の送客を実現した。
④	・平成23年度に初めて誘致した国際クルーズ船について、合計で4回の寄港実績を挙げた。

【V. 施策を構成する主要事業の評価】

取組No.	事業名	事務事業評価		事業コスト (千円)
		総合評価	掲載頁	
①	1 農山漁村ツーリズム推進事業	現状維持	—	16,483
	2 ジオパーク構想推進事業	見直し(24年度)事業内容の拡充	63	39,755
②	1 九州観光戦略共同事業	現状維持	—	35,257
	2 観光客にやさしい案内標識整備事業	現状維持	—	14,867
③	1 関西圏域観光誘客促進事業	見直し(24年度)効率化の推進	10	72,995
	2 都市圏観光誘客促進事業	見直し(24年度)効率化の推進	—	38,874
	3 観光情報収集・発信事業	現状維持	—	66,034
	4 プロモーションおおいた福岡戦略事業	見直し(24年度)事業内容の縮小	—	21,118
④	1 海外観光客誘致対策事業	見直し(24年度)事業内容の拡充	11	36,022

【VI. 主な取り組みの進捗状況・今後の課題】

進捗状況	取組No.①～④の全てにおいて、順調に進んでいる。	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の環境の変化に対応した誘客の促進 ・観光客の受け入れ態勢の整備、おもてなしの向上 ・圏域別、目的別の効果的な情報発信の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に海外からの誘客のための各県や九州観光推進機構との連携強化 ・ツーリズムおおいたの機能強化とさらなる連携の強化

【VII. 施策に対する意見・提言】

<p>○「安心・活力・発展プラン2005」中間見直し策定委員会(H23.5)</p> <p>・「食」「風景」「人」などの大分の魅力ツーリズムに取り入れていくことが必要である。</p>	
---	--

【VIII. 今後の施策展開について】

今後の方向性	施策展開の具体的内容
拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・県内各地に広がる温泉の良さを改めて全国・世界にアピールするとともに、地域の自然や食、歴史、伝統文化などの資源を磨き、マーケットの求める魅力ある観光商品や観光地づくりを推進する。 ・グリーンツーリズムと環境やエネルギー、福祉など大分ならではのメニューを組み合わせ魅力的な商品づくりを推進する。 ・国内では各圏域のニーズを的確に捉えるとともに、女性や知的好奇心の高いアクティブシニア(団塊の世代)をメインターゲットとした誘客を推進する。 ・海外に向けては、航空路線が整備されている韓国や規制緩和が進む中国上海地区・香港、台湾など主要都市を重点的に誘客活動を展開する。 ・大分県観光のすばらしさを的確に伝える効果的な情報発信の強化を図るとともに、戦略ある現場主義の推進により積極的な事業の推進を図る。